

## 技術系人材の確保・育成対策アクションプランの実施状況(平成24年度)

事業名 ※ローマ数字(5本の柱) ※○数字(具体的事業名)	実施計画	実施結果	課題、来年度の取り組み方針	担当課名	
<b>I 課題への対応システムの整備</b>					
①	産学官労連携人材確保・育成推進会議の運営	①年2回の会議を開催する。(6月、11月を予定) ②会議での議論などを通じ、必要に応じプランの内容を見直す。 (H20・17事業、H21・20事業、H22・23事業、H23・23事業、H24・24事業) ③技術系人材の確保のための産学官労が連携して行う事業を模索する。	○第1回会議を6月8日に開催し、平成24年度のアクションプランの内容等について意見交換を行った。 ○第2回会議を11月22日に開催。	【課題】 ・産学官労の一層の連携強化。 【来年度に向けての取り組み】 ・アクションプランの見直しを準備する。	産業人材課
<b>II 質量両面にわたるミスマッチの解消</b>					
②	県内大学のジョブカフェランチの運営	各大学で「ジョブカフェランチ」を開催し、学生の就職を支援する。 ①山梨大学 週1回(木曜日) ②都留文科大学 週1回(金曜日) ③県立産業短期大学校 週1回(水曜日) ④宝石美術専門学校 週1回(月曜日)	○利用者数 ・山梨大学: 249名 ・都留文科大学: 70名 ・県立産業短期大学校: 331名 ・宝石美術専門学校: 496名	【課題】 ・学生のニーズに応じた実施 【来年度に向けての取り組み】 ・大学等に直接出向いて実施する相談やセミナーは効果的であることから、大学の就職支援部局と連携し、学生のニーズに応じたセミナーや、きめ細かな個別面接等を実施する。	労政雇用課
③	企業団体と山梨大学との情報交換会の開催	①11月開催予定 ②内容:「平成25年3月卒業予定者の対策について」 (山梨大学、機械電子工業会)	○開催日 8月7日開催 ○参加者 ・山梨大学: 13名 ・機械電子工業会: 9名 ・やまなし産業支援機構: 2名 ・県(労政雇用課): 1名	【課題】 ・企業と大学との情報共有 【来年度に向けての取り組み】 ・将来を見据えた技術系人材の確保を必要とする県内企業と、企業の求人ニーズの把握による効果的な就職支援を目指す大学との意見交換を行う。	労政雇用課
④	新卒者と県内中小企業との雇用のミスマッチの解消	①「新卒者就職応援企業」の登録・HPによる企業情報の発信 ②学生への冊子による企業PR活動の実施 ③「新卒者就職応援企業」と学生等との就職面接会の実施 ④中小企業の採用力の強化、職場定着の支援	①企業の登録 361社 ②冊子の作成 ・「やまなし中小企業ガイドブック」の作成 6月1,000部 8月1,000部 10月4,000部 3月4,000部 ③やまなし中小企業合同就職面接会の開催 ・第1回 平成23年6月22日 ベルクラシック甲府 63社、310名 ・第2回 平成23年8月24日 ベルクラシック甲府 61社、190名 ・第3回 平成23年10月29日 ベルクラシック甲府 54社、266名 ④定着支援セミナー ・第1回 平成24年11月2日 13社、14名 ・第2回 平成25年2月13日 22社、45名 ・第3回 平成25年2月20日 14社、26名	【課題】 ・県内企業の情報発信の強化等 【来年度に向けての取り組み】 ・雇用情勢は依然として厳しい状況にあるため、県内企業の情報発信や学生と企業との出会いの場の提供、定着支援等を実施する。	労政雇用課
⑤	県内企業による県内外大学の学生向けPRガイダンスの実施	・開催場所: 山梨大学 ・開催回数: 2回	○平成24年11月、平成25年1月開催	【課題】 ・大学との連携による就職支援 【来年度に向けての取り組み】 ・雇用情勢は依然として厳しい状況にあるため、大学で実施するガイダンス(合同就職面接会)の周知を行い、学生の就職活動を支援する。	労政雇用課
⑥	人材育成のための職業訓練に関する情報の迅速な提供	①職業訓練に関する講座情報の提供を希望する企業への情報提供の継続。県立職業能力開発施設での在職者訓練修了者の属する企業への新規開拓の働きかけを行う。 ②在職者訓練修了者に対する、又は修了者を通じての新規開拓に努める。 ③経営者や人事担当者を対象とした、職業訓練に関連したセミナー(「指導者研修」、「人の扱い方」、「仕事の教え方」など)を実施する。	○県立職業能力開発施設(4施設)が実施する在職者訓練の紹介を、郵送又は電子メールにより事業所・各種団体に送付している。 ○H24年度は、122コース中6コースの人事担当者を対象とした職業訓練関連セミナーを設定。	【課題】 ・周知活動の強化。 【来年度に向けての取り組み】 ・在職者訓練は、受講率も高く好評であるため引き続き実施する。 ・受講率が低いコースの廃止や受講率が高いコースの回数増など見直しを図る。	産業人材課
⑦	幅広い年齢層への就職情報の提供	「ユースバンクやまなし」の登録を促進するため、各高等学校の卒業時期や「親のためのセミナー」、「企業説明会」等の開催時において資料を配布し、周知に努める。	○ユースバンクやまなし ・登録者数3,876名 ・親のためのセミナー、県外大学の父母会、就職面接会等で周知	【課題】 ・登録者の拡大 【来年度に向けての取り組み】 ・「親のためのセミナー」、「父母会」、「就職面接会」などを活用して引き続き周知を図り、登録を促進する。	労政雇用課
⑧	「やまなしU・Iターン就職支援室」によるU・Iターン対策の推進	大学の就職支援室と連携し、学内の就職セミナーなどのイベントで学生に直接情報提供するとともに、窓口相談等を実施する。	○セミナー等参加状況 ・参加回数 54回 ・参加人数332名	【課題】 ・U・Iターン就職の促進 【来年度に向けての取り組み】 ・学校訪問や就職面接会等で学生に対して情報提供を行うとともに、窓口相談等を実施する。	労政雇用課
⑨	新規高卒者等を対象とした県内企業との面接会開催	新規高校卒業予定者等を対象に、県内企業との就職面接会を実施する。 ・開催回数2回予定	○第1回: 平成24年12月14日 ベルクラシック甲府 51社、164名 ○第2回: 平成25年2月15日 ベルクラシック甲府 50社、85名 ○第3回: 平成25年3月14日(追加開催) ベルクラシック甲府 25社、81名	【課題】 ・新卒未就職者の減少 【来年度に向けての取り組み】 ・雇用情勢は依然として厳しい状況であるため、県内企業の人材確保と学生の就職支援のため継続して実施する。	労政雇用課

技術系人材の確保・育成対策アクションプランの実施状況(平成24年度)

事業名 ※ローマ数字(5本の柱) ※○数字(具体的事業名)	実施計画	実施結果	課題、来年度の取り組み方針	担当課名	
III 企業の人材育成への支援					
⑩	産業技術短期大学等における在職者訓練の充実	企業ニーズに対応する独自カリキュラムによる在職者訓練を実施する。(オーダーメイド型訓練・15コース、定員150人開設予定)	○企業ニーズに対応する独自カリキュラムによる在職者訓練を実施。 ○実施済のオーダーメイド型訓練は5コース。22名が修了。	【課題】 ・受講者の増加を図るための取り組みが必要。 【来年度に向けての取り組み】 ・単独では受講者が少数となるため、同業種の複数企業の共同実施を促進する。 ・今年度と同規模で実施する。 ・ものづくりの熟練技術の伝承、若年者の技術向上等の取組の実施を検討する。	産業人材課
⑪	工業技術センター等におけるものづくり人材育成研修の充実	①工業技術センター 18コース実施 ②富士工業技術センター 4コース(8講座)実施	①工業技術センター 18コース実施(機械電子関連の加工・測定・評価の基礎技術等) ・受講者数 323名 ②富士工業技術センター 4コース(8講座)実施[画像処理技術、異物分析技術] ・受講者数(55名)	【課題】 ・企業ニーズの把握 ・研修課題の選定 ・夜間および土日開催対応 【来年度に向けての取り組み】 ・継続的に調査している企業ニーズと産業振興ビジョンとを絡めた研修課題の設定 ・受講者への夜間および土日開催要望に関するアンケート調査の実施	産業支援課
⑫	高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施する職業訓練との連携	・県実施訓練での委託訓練の充実を図るとともに、それぞれの役割を踏まえた適切な職業訓練を実施するため、県委託訓練と求職者支援訓練の調整を図る。	高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施する求職者支援訓練と調整を図る中で、平成24年度は委託訓練の定員を770名(農業科60名を除く)に拡充(H23は730名)し、応募状況等を踏まえ年度後半に3コース60名を追加して実施した。	【課題】 ・第9次職業能力開発計画を踏まえ、成長が期待される分野等の人材育成を検討することが必要。 【来年度に向けての取り組み】 ・求人・求職のニーズを踏まえて、適切な委託訓練コースを設定する。	産業人材課
⑬	職業能力開発施設の再編整備	・平成25年4月の産業技術短期大学都留キャンパス開校に向けて施設整備等を進める。 ・学科再編を踏まえ老朽化した峡南高等技術専門校の施設整備を進める。	・都留キャンパスの整備を進め、平成25年3月に建設工事を完了した。(平成25年4月開校) ・峡南高等技術専門校整備のため基本・実施設計を行った。(平成25年度～平成26年度 校舎建設工事等)	【課題】 ・峡南高等技術専門校の施設整備を円滑に進めるための関係機関との協議等 【来年度に向けての取り組み】 ・都留キャンパスにおける備品の整備 ・峡南高等技術専門校整備に当たり訓練に支障が生じないための関係機関との連絡・調整等	産業人材課
⑭	やまなし匠の技・伝承塾の開催	○開講予定 ①開講科目、募集人数 ・普通旋盤コース 10人 ・フライス盤 仕上げコース 8人 ②開講期間 平成24年8月～平成25年2月の土曜日、計15日間 ③場所 山梨県立産業技術短期大学 ○これまでの実績(H18～H23) 参加者数100人、修了者数88人	○開講科目と受講者数 普通旋盤コース 11名、フライス盤・仕上げコース 5名 ○開講期間 平成24年8月11日～平成25年2月2日の土曜日、計15日間 ○場所 山梨県立産業技術短期大学	【課題】 ・修了後の技能の維持向上 【来年度に向けての取り組み】 ・事業案内の拡充と新規参加企業の開拓 ・カリキュラムの一層の充実を図る。	産業人材課
⑮ 新	【新規】燃料電池関連産業に係る人材育成支援	対象 県内中小企業 補助率 1/2 採択予定件数 3件	・募集期間 平成24年5月9日～6月22日 ・採択件数 0件	【課題】 ・取組みを行う企業数の拡大 【来年度に向けての取り組み】 ・燃料電池関連産業への参入を希望する企業の掘り起しを進めるとともに、より一層の制度周知を図る。	海外展開・成長分野推進室
IV 確保育成のための一貫型教育システムの構築					
⑯	小中学生を対象とした職場体験の実施	①地場中小企業等の職場を実際に体験することにより、仕事に対する理解や働くことの大切さを実感する機会を供する。 ②平成23年度 実績 10校 267人 ③平成24年度 計画 10校 300人	○11校 228名	【課題】 ・多様な体験先企業の参加 【来年度に向けての取り組み】 ・低学年の時期から、望ましい職業観・勤労観を育成し、適切な職業選択や安易な離職の防止を図るため実施する。 ・事業内容見直し予定	労政雇用課
⑰	高等学校におけるキャリア教育・職業教育の推進	①校長研究協議会等を通して、キャリア教育の全体計画を踏まえた年間指導計画の作成を依頼し、同時にキャリア教育・職業教育への取組と教材「山梨に生きる」の各学校の実情に応じた活用の促進を依頼する。 ②進路指導主事研究協議会を通じて、教材「山梨に生きる」の各学校での活用実践例について、情報の共有を進める。 ③年度末に各学校での活用状況について調査を行い、次年度の各校の活用に向けて情報提供を行う。	○第3回進路指導主事研究協議会(10月25日) ・キャリア教育の全体計画に教材「山梨に生きる」の活用の位置づけを依頼。 ○第4回進路指導主事研究協議会(2月14日) ・教材「山梨に生きる」活用状況調査の実施 ・教材「山梨に生きる」活用事例の情報共有。	【課題】 ・教材「山梨に生きる」等を活用した山梨についての学びを適切に位置付けたキャリア教育の全体計画・年間指導計画の作成。 【来年度に向けての取組】 ・「山梨に生きる」の活用状況調査を行い、調査結果に基づき、全体指導計画への位置づけを一層推進する。	高校教育課

## 技術系人材の確保・育成対策アクションプランの実施状況(平成24年度)

事業名 ※ローマ数字(5本の柱) ※○数字(具体的事業名)		実施計画	実施結果	課題、来年度の取り組み方針	担当課名
⑱	高等学校におけるインターンシップの推進	①インターンシップ推進連絡協議会による事業の推進についての協議 ②地域連絡会議において、実施上の課題や問題の解決に向けての検討や情報交換を実施 ③他校の優れた実践を参考にするため実践事例発表会の開催とキャリア教育(インターンシップ)に関する講演会の開催 ④インターンシップ実施校における事前指導の過程での、勤労観・職業観の育成を図るための講演会の実施 ⑤受け入れ先事業所の開拓及び高校生インターンシップの啓発のためのパンフレットの作成	○地域連絡会議の開催(5月28日) ・全体会で昨年度の状況及び本年度の事業計画を説明。 ・各地域に分かれ、各校の実践状況等の発表及び意見交換。 ○ハローワーク訪問(6月～7月) ・受入企業向けパンフレットの配布を依頼する。 ○実践事例発表会(2月22日) ・県産業技術短期大学校田中校長先生による講演会を実施 ・農林高校、甲府工業高校によるインターンシップ実践事例発表	【課題】 ・ <b>受け入れ事業所の確保。</b> 【来年度に向けての取り組み】 ・来年度に向けての一層の働きかけを行う。 ・未実施高校へ実施について一層の働きかけを行う。 ・業界団体やハローワーク等を通じ、事業所への受け入れを依頼。 ・受入れ先の一覧表をできるだけ早く各校へ提示する。	高校教育課
⑲	小・中学校、高校のキャリア教育推進体制の整備	①小・中学校キャリア教育研究協議会の開催(年3回) ②キャリア教育推進事業研究推進校の研究のまとめと各学校への周知	○小・中学校キャリア教育研究協議会の開催(年3回)(第1回5月29日、第2回9月27日、第3回10月23日 全小・中学校キャリア教育担当271名参加) ○キャリア教育推進事業研究推進校の研究のまとめと研究成果の普及	【課題】 ・学校や教職員への普及と指導体制の整備。 【来年度に向けての取組】 ・児童生徒が社会人・職業人として自己を生かしていくための基礎となる能力や態度を育む教育を推進するため、学校の特色を生かし児童生徒の発達段階に応じた体系的なキャリア教育の指導計画を作成・実践する能力をもった教員を育成することが必要である。小・中学校キャリア教育研究協議会を実施して、全体指導計画及び年間指導計画の作成と教育課程への位置付けを一層推進する。併せて、特色ある実践事例の交流を行う。 ・『キャリア教育推進の手引き』を参考に各学校の指導体制を整備する。	義務教育課
⑳	工業系高校、産業技術短期大学のキャリアラム充実と連携の強化	①連携推進検討会及びワーキンググループ等による検討を引き続き実施する。 ②H21年度からの連携策として、産短大指導員による工業系高等学校への出張授業を実施する。	・産短大と谷村工業高校、富士北稜高校と連携に関する協定締結 ・都留キャンパスにおける工業系高校からの優先入学の実施 ・産短大教員による工業系高校(谷村工業高、甲府城西高)での出張授業(合計12回実施)	【課題】 ・産短大と工業系高校との連携強化 【来年度に向けての取り組み】 ・産業技術短期大学校と工業系高校との連携の一層の推進 ・都留キャンパスにおける一貫型カリキュラムの実施	産業人材課
	山梨大学工学部地域産業リーダー養成特別枠での人材養成	①「山梨の魅力を探る」、「リーダー力養成講座」などの特別演習や特別インターンシップの実施。 ②奨学一時金の支給、特別インターンシップの受入や特別演習等への講師派遣。 ③特別演習等実施経費の助成と特別演習等への講師派遣。 ④H21:機械システム工学2名、H22:機械システム工学2名、電気電子システム工学2名、コンピュータ・メディア工学1名、応用化学1名、H23:機械システム工学1名、応用化学1名	○特別実習 6月から2月にかけて県内経営者等による講義、県外研修を実施 ○特別インターンシップ 8月から9月にかけて実施(海外研修者1名) ○卒業研修地域報告会	【課題】 ・ <b>対象学生の拡大の検討。</b> 【来年度に向けての取り組み】 ・企業訪問、インターンシップ先等の充実。 ・授業内容の充実。	産業人材課
	「やまなしものづくり教育ネットワーク」によるものづくり教育の推進	緊急雇用において以下の事業に取り組む。 ①ものづくり産業を支える将来の人材育成を図るため、教職員を中心としたものづくり施設見学会や小中学校への出前授業の実施、各種ものづくり関連事業への協力を行う。 ②ものづくりに対する意識醸成を促進するため、ものづくり人材育成の重要性についての普及・啓発、ものづくり産業関連情報の発信等を行う。	○ものづくりの重要性についての普及・啓発を図るための講演会を実施。(9月22日文学館「いのちの絆を宇宙に求めて」、150人参加) ○小中学生を対象に工業技術への関心を育むための出前授業を実施。(2月～3月に全3回、計19名参加) ○学校教員等を対象に最先端技術を学ぶための工場見学会を実施。(3月14日牧野フライス製作所、51名参加)	【課題】 ・ <b>産業界、教育界の積極的参画</b> 【来年度に向けての取り組み】 ・緊急雇用による事業のため、本年度末をもって終了。 ・産業界、教育界の主体的・自発的な提案、要望を踏まえながら、ものづくり人材育成に資する事業の計画・立案について検討を図っていく。	産業政策課
V 産学官連携価値創造型インターンシップ事業の推進					
	地域連携ものづくり人材育成事業の推進	・ものづくり人材育成推進委員会2回、推進委員会8回、成果発表会開催(10/31) ・内容:①生徒の企業現場実習 ②技術者の実践的指導 ③教員の技術研修 ④企業との共同研究 ・プロジェクト参加生徒の県内企業への就職率 95%	○ものづくり人材育成推進委員会2回、担い手委員会7回実施 ○事業成果の発表会を10/31に実施し、約220名の参加があった。 ○今年度の事業実績は、事業参加生徒数のべ1441人、協力企業数のべ165社、技能検定合格者数が前年度比30%増、教員企業研修のべ100人であった。定量目標をほぼ達成できた。	【課題】 ・製造業の求人が少ない状況で、就職内定率100%、県内企業への就職率90%の達成が難しい。 ・経済的に厳しい家庭が多く、技能検定の受験料が高いためチャレンジできない。 ・確かな技術、技能を身に付けさせていく上で、教員の技術力の向上や事業協力企業数の増加、技術指導に必要な実習機械及び機器の確保を図る必要がある。	高校教育課
	産業界と大学が取り組む体系的なインターンシップ制度の推進	①山梨大学工学部、(社)山梨県機械電子工業会、山梨県が協力し、山梨大学工学部の学生のインターンシップの推進に取り組む。 ②各種業界団体の会合などを活用し、関係機関と協力してインターンシップ制度の周知を図る。	○特別枠学生の企業訪問、企業見学の際、個別に受入れを要請。	【課題】 ・ <b>インターンシップ受入れ企業の拡大。</b> 【来年度に向けての取り組み】 ・個別要請のほか、業界団体を通じた受入れ要請を実施する。	産業人材課